

# デザイン産学連携プログラム

～「濱文様ブランドのオリジナルてぬぐい柄を店頭に」～

## — H22 年度 of 取組報告書 —

H21 年度(準備)・H22 年度(実施)

協力教育機関      相模女子大学短期大学部

協力企業            株式会社 ケイス

横浜市経済局工業技術支援センター  
デザイン部門

横浜市工業技術支援センターでは、デザイン面から中小企業を支援する新しい取組の一つとして、「デザイン産学」を平成21年度から開始しました。その取組経過をここに報告します。

## 1 デザイン産学の目的

デザイン産学連携プログラムは、自社の技術・製品・商品等の新たな展開を考えている中小企業が商品企画テーマを提示し、それに対して、教育機関の学生が自らの感性や発想等の強みを活かした商品企画の提案に取り組むもので、市内中小企業の商品開発への支援を目的としています。

## 2 スケジュール（当初の予定）

- (1) 募集（募集期間 平成21年11月24日から平成22年1月29日まで）  
市内中小企業からデザイン産学連携プログラムで取り組むテーマを募集
- (2) ヒアリング（平成22年2月中旬を予定）  
教育機関を中心に、中小企業から提出されたテーマについてヒアリングを実施
- (3) テーマの選考（平成22年3月初旬を予定）  
教育機関がヒアリングをもとに取り組むテーマを選考。選考の結果は横浜市より通知
- (4) ミーティング（平成22年3月下旬を予定）  
教育機関と中小企業との間で実施方法等、詳細についての打合せ
- (5) オリエンテーション（平成22年5月上旬を予定）  
中小企業から、教育機関の学生に対してテーマの目的や注意点などを説明
- (6) チェック（平成22年5月末、6月中旬を予定）  
学生の提案がテーマの目的等から外れていないか、中小企業がチェック
- (7) プレゼンテーション（平成22年7月末を予定）  
完成した提案作品を学生が中小企業にプレゼンテーションし、その中から優秀なものを中小企業が選定し、表彰

## 2 実施概要

- (1) 実施内容  
中小企業の持つ技術・製品・商品等を基に提案した「連携テーマ」について、学生が商品アイデアを提案することを基本としました。
- (2) 実施期間 平成21年10月～平成22年12月
- (3) テーマ採択数  
企業へのヒアリングにより、本プログラムに適している連携テーマを提示した1社を選考
- (4) 対象教育機関 相模女子大学短期大学部 生活デザイン学科
- (5) 対象企業 (株)ケイス（自社オリジナルブランド（濱文様・ケイス）生活雑貨の企画・販売）
- (6) 実施経過
  - ア 教育機関の決定：相模女子大学短期大学部 生活デザイン学科
  - イ 企業の募集（募集期間：H21.11.24～H22.1.29）：2社が応募
  - ウ ヒアリング（H22.2.22相模女子大学短期大学部 生活デザイン学科にて実施）  
教育機関が中心になって企業から連携テーマについてヒアリングを実施
  - エ テーマ選考（平成22年3月本市より通知送付）

本プログラムに適しているテーマを提示した1社を教育機関が選考し、横浜市より結果を通知

- オ ミーティング (H22. 3. 23 相模女子大学短期大学部 生活デザイン学科にて実施)  
教育機関と企業との間で実施方法等の詳細について打合せを実施
- カ オリエンテーション (H22. 5. 12 実施)  
教育機関の学生に対し、企業からテーマの目的や注意点などについて説明
- キ チェック1 (H22. 6. 12 実施) : 学生の個々の提案に対して企業等のデザイナーがアドバイス
- ク チェック2 (H22. 7. 12 実施) : ペーパープロトタイプ制作をチェック
- ケ プレゼンテーション (H22. 8. 2 実施)  
学生20人が、自らの提案作品を企業に対しプレゼンテーションを実施
- コ 優秀作品の選考、表彰 (H22. 9. 実施) 記者発表  
提案作品の中から優秀なデザイン柄を企業が選定し表彰
- サ 製品作成・販売開始  
優秀作品は、(株)ケイスが「てぬぐい柄」として採用し、インターネットで販売開始
- シ 展示会・イベントの実施  
テクニカルショウヨコハマ2011において、工業技術支援センターブースで取り組みを紹介し、商品化されたてぬぐいを展示

## 【平成21年度の取組】

### 3 教育機関の選定

#### (1) 選定作業

いくつかのデザイン系大学等を対象教育機関候補として調整を図った結果、学長や担当教授の理解が得られた相模女子大学短期大学を選定しました。

#### (2) 相模女子大学短期大学部 生活デザイン学科に決定

生活デザイン学科は実践的デザイン教育として、地域や企業などとの連携プロジェクトによるデザイン教育を行っていることから、女子短期大学生ならではの感性や発想を活かした商品アイデアの提案を中心に進めることとしました。

#### (3) 相模女子大学短期大学部 生活デザイン学科の要望

次のような考えを持った企業と連携したいと要望がありました。

ア 女子短期大学生ならではの視点や感性を活かした商品開発を考えている。

イ 若い世代の発想から新たな着想を得たい。

ウ 視点の多様性や、発想の柔軟性など、女子短期大学の学生がどんなおもしろいモノを考えるかを聞いてみたい。

### 4 参加企業の選定

#### (1) 参加企業募集 (H21. 11. 24 記者発表、ホームページに掲載等)

市内に主たる事業所を有する中小企業等で次の全項目に協力できる企業を募集

ア 教育機関において会社概要やテーマ、趣旨等を説明する。

イ 提案の中間チェック、成果発表で評価、助言を行う。

ウ 教育機関からの問い合わせに対応する。

エ 提案等の商品化を希望する場合は、商標デザイン登録、著作権、使用権について、教育機関や学生等との協議により解決する。

オ 経費の負担や材料等の提供に協力する。

カ 成果発表で優秀なものを選定し、表彰する。

募集：平成21年11月24日（火）から平成22年1月29日（金）まで

【参考】

横濱市経済産業局、横浜経済光栄ものづくり支援センター

記 登 録 期 間  
平成22年11月24日  
横浜経済光栄ものづくり支援センター  
担当 部長 田中 清和  
電話 045-738-3100

### デザイン産学連携プログラムへの参加企業を募集します！

横浜経済光栄では、市内中小企業の商品開発支援を目的にデザイン系教育機関の協力を得てデザイン産学連携プログラムを実施します。デザイン産学連携プログラムは、自社の技術・製品・商品等の新たな展開を考えている中小企業が商品企画テーマを提示し、それに対して、デザイン系教育機関の学生が自らの感性や発想等の強みを活かして商品企画の提案に取り組みます。

デザイン系教育機関で学ぶ学生の発想を促してみたい、デザイン系教育機関と共同して自社の技術・製品・商品等の新たな展開を考えたい中小企業を募集します。

対象企業	テーマ採択案
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 横浜市内に本社を事業所を有する中小企業者。</li> <li>■ 次の各項目に協力できること。</li> <li>ア 販路開拓に際しては社幹部やチーム、講師等を派遣すること。</li> <li>イ 授業の中間チェック、成果発表で評価、表彰を行うこと。</li> <li>ウ 教育機関からの問い合わせに対応すること。</li> <li>エ 授業等の商品化を希望する場合は、商標デザイン登録、著作権、使用権について、教育機関や学生等との協議により解決すること。</li> <li>オ 経費の負担や材料等の提供に協力すること。</li> <li>カ 成果発表で優秀なものを選定し、表彰すること。</li> </ul>	<p>テーマについてヒアリングを実施し、本プログラムで取り組むテーマを決定し、1社程度を採択させていただきます。</p> <p><b>デザイン系教育機関の紹介</b></p> <p>相模女子大学 短期大学部 生活デザイン学科 生活デザイン学科では実践的デザイン教育として、地域や企業などとの連携プロジェクトによるデザイン教育を行っています。連携の成果としては女子短期大学ならではの感性や発想を活かした商品企画の提案が中心となります。</p>
<p><b>実施内容</b></p> <p>中小企業の特長・製品・商品等をもとにしたテーマについて学生が商品アイデアの提案を行うことと基本となります。</p> <p><b>実施期間</b></p> <p>平成22年3月1日～平成22年3月31日を実施いたします。詳細については、中小企業と教育機関との間で協議した上で決定します。</p> <p><b>申込方法</b></p> <p>所定の申込用紙に必要な事項を記入の上、郵送、持参、FAXのいずれかの方法により提出してください。申込多数の場合は、申込用紙を参考にご審査を実施し、ヒアリングにお進みいただいた社員様を選考させていただきます。</p> <p>申込用紙のダウンロード先 <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/kyouiku/kyouiku/045_738_3100/">https://www.city.yokohama.lg.jp/kyouiku/kyouiku/045_738_3100/</a></p> <p><b>申込期間</b></p> <p>平成21年11月24日(火)～平成22年1月29日(金)</p>	<p>次のような要望を持った企業に応じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→女子短期大学ならではの視点や感性を活かした商品企画を希望している。</li> <li>→若い世代の発想から新たな発想を得たい。</li> <li>→横浜の多様性や、発想の柔軟性など、女子短期大学の学生が活躍できるような企画を企画したい。</li> </ul> <p>■ 生活デザイン学科の学生による連携プロジェクトの事例</p> <p>「服飾やインテリアなどのサービス企業では、若い女性の発想を目的とした企画も進んでいる中、LEDの発光機能やセンサーなどを活用した感性を活かした、若い女性をターゲットにした企画開発に向けた取り組みのデザイン提案を行いました。</p> <p>また、地域連携として大学に依頼する相模大野健康食品店と連携し、毎年行っている「産学実用出展」(夏休みの期間限定)のみならず、通常のデザイン制作や、相模原健康館と連携し、「健康づくり定額品」(即売センター)デザイン制作なども行っています。</p> <p>これらの連携プロジェクトは、すべて学生によるプレゼンテーションを行うことで採択が決定されています。</p> <p style="text-align: center;">※スケジュールの詳細は裏面にあります。</p>

### スケジュール

- 1 **募集**  
市内中小企業からデザイン産学連携プログラムで取り組むテーマの募集を開始します。申込多数の場合は、申込用紙を参考に審査を実施し、申込いただいた方の中からヒアリングにお進みいただいた社員様を選考いたします。  
(募集期間 平成21年11月24日から平成22年1月29日まで)
- 2 **ヒアリング**  
デザイン系教育機関が中心となって中小企業から採択テーマについてヒアリングを行います。ヒアリングは相模女子大学で実施する予定です。  
(平成22年2月中旬を予定)
- 3 **テーマの選考**  
デザイン系教育機関がヒアリングをもとに取り組むテーマを選考します。(社員様を予定)  
選考の結果を横浜市より通知します。  
(平成22年3月初旬を予定)
- 4 **ミーティング**  
デザイン系教育機関と中小企業との間で実施方法等の詳細について打合せを行います。  
ミーティングは相模女子大学で実施する予定です。  
(平成22年3月下旬を予定)
- 5 **オリエンテーション**  
中小企業からデザイン系教育機関の学生に対して、テーマの目的や注意事項などの説明を行います。  
(平成22年5月上旬を予定)
- 6 **チェック**  
採択がテーマの目的等から外れていないか中小企業がチェックを行います。  
(平成22年5月末、6月中旬を予定)
- 7 **プレゼンテーション**  
採択した提案を中小企業にプレゼンテーションします。中小企業は、採選の中から優秀なものを選び表彰します。  
(平成22年7月末を予定)

**お問合せ先**

横浜経済光栄ものづくり支援センター 工業技術支援センター  
〒230-0904 横浜市中区磯子1-1-1  
Tel: 045-738-3000 Fax: 045-738-3055  
E-mail: [tspp@city.yokohama.lg.jp](mailto:tspp@city.yokohama.lg.jp)  
Web: [https://www.city.yokohama.lg.jp/kyouiku/kyouiku/045\\_738\\_3100/](https://www.city.yokohama.lg.jp/kyouiku/kyouiku/045_738_3100/)

(2) 企業の選定作業

ア 応募企業2社

A社：【連携テーマ】情報のカラーユニバーサル化

B社：【連携テーマ】現在展開している商品アイテム以外の開発アイデア

イ ヒアリング

相模女子大学短期大学生活デザイン学科にて実施（平成22年2月22日実施）

ウ テーマ選考

本プログラムで取り組むテーマを1つ選考し、結果を通知（平成22年3月初旬）

A社は連携目的が不明確、学生が興味を示さないという理由から落選。

B社（株式会社ケイス）に決定。

(3) ミーティングの実施

ア 選考された企業と大学との間で実施方法等について打合せ実施（平成22年3月23日）

イ オリエンテーションの内容の事前打ち合わせ

- ・開催日程は土曜日を予定（H22年5月上旬頃実施予定）

- ・内容は

- ◎産学連携の説明 ◎学長あいさつ ◎DVD鑑賞

- ◎企業からの説明（濱文様について・今回の連携で求めるもの・制約条件（型色等）他）

◎質疑応答

ウ 今後についての意見

- ・オリエンテーション後、2回程度学生の提案に対する講評を企業にして欲しい。（大学）
- ・日程は制作状況をみながら決定するが5月末、6月中旬を目安としたい。（企業）
- ・プレゼン日程決定後、記者発表を希望（市と大学で同時発表を検討）（本市）

エ その他

展示会等での展示、図案から生地を起こすまでの期間（3～4週間程度）、株式会社ケイスの3店舗（東京 銀座 仙台）での展示について意見がありました。また、百貨店関連として相模大野の百貨店が今年20周年であり、相模女子大学とのコラボとしてファッションショーを企画中（9月頃）であるため、この産学連携の成果を発表できないかと考えているとの意見がありました。

## 5 産学官連携プログラムの実施

### (1) オリエンテーションの回 5月17日

株式会社ケイスの加藤社長によるオリエンテーションを相模女子大学にて実施しました。

#### ア 内容

松島直文先生（相模女子大学生生活デザイン学科）から産学連携プログラムの目的・狙いについての説明の後、谷崎昭男大学学長より挨拶がありました。

続いて、加藤(株)ケイス社長より濱文様の歴史、ビジネスモデル、濱文様における商品企画コンセプト等の説明の基に、現在生産販売している「てぬぐい本」（2007年度グッドデザイン賞）や「いろははんかち」（2008年度グッドデザイン賞）などの特長的な商品の紹介がありました。



説明をする加藤社長



説明を聞く学生たち

#### イ 今回のテーマ

今回株式会社ケイスから学生たちに与えられたテーマは

『濱文様ブランドのオリジナルてぬぐい柄を店頭へ』

提案された柄のうち採用となった柄に関しては実際に商品化し、株式会社ケイスの自社ショップでのテスト販売を予定

#### ウ 制約条件

てぬぐい柄提案にあたっての制約条件は次の2つ

- ・使える色数は最大3色（生地のはきは別）
- ・アイテムは小幅のてぬぐい（34cm×90cm）

#### エ 今後について

8月頃プレゼンテーションを行い、採用する柄を決定する予定

**(株)ケイスの商品 2007年 「てぬぐい本」が2007年度グッドデザイン賞と同時に、中小企業長官特別賞受賞。**

手拭いを折り畳んで本にしたてぬぐい本。手拭いの風情を大切にするために両端は従前どおりに縫わずにおいています。とじひもをほどくと一枚の手拭いに。

広げれば手拭い、畳めば本。てぬぐいの楽しさが、また広がります。

2011年夏の新作、うらしまたろう。むかしばなしをてぬぐい本でお楽しみください。



**2008年 「てぬぐいの いろははんかち」が2008年グッドデザイン賞受賞。**

「いろははんかち」は、「おめでとう」「ありがとう」などのメッセージや、「はなこ」「たろう」といった名前など、文字を組み合わせることが出来ます。贈り物にも最適です。





## (2) チェックの回 (その1) 6月12日 (月)

### ア 「中間チェックの様子」

(アドバイスを熱心に聞いてメモを取ったり、とても真剣でした。)

株式会社ケイスの3人と工業技術支援センターのデザイナーの4人が2手に別れ、アドバイザーとして学生一人ひとりのテーブルをまわり、学生の提案した「てぬぐい柄」についてアドバイスをを行いました。

学生はアドバイザーにアイデアの意図や狙いなどの説明し、アドバイザーは実際に商品化するうえで必要なアドバイスをを行いました。



### イ 講評

全員のテーブルをまわった後にアドバイザーから講評がありました。

- まだ、色鉛筆を使ったラフなもので自分でもまとめきれていないと思います。そんな中でたくさんのアイデアを出してもらえたなと思っています。
- 面白さがあつたり、他人とのコミュニケーションの架け橋になったり、そういったものが売れたりする。今日みなさんのアイデアを見てその辺りはよく理解されていると思いました。楽しいモノ、面白いモノを世に出したいという強い信念があれば技術は後からついてくるので、自由に発想して欲しいです。
- それぞれの個性が出ていると感じました。今までは自由に考えていたと思いますが、これからは商品化を考える段階になるかと思っています。その時は、アイデアが商品になったところを具体的にイメージしながら進めるとやりやすいと思います。

柄のサイズやスペースなどは原寸(94cm×30cm)を意識して欲しい。また、売り場では畳まれて陳列される。中央部分に柄を配置しないとせつかくの柄が隠れてしまうので注意が必要です。



## (2) チェックの回 (その2) 7月12日 (月)

今回はパソコンを使ったパターン制作と900mm×340mm(てぬぐい原寸)のペーパープロトタイプ制作をチェックしました。





### (3) プレゼンテーションの回

8月2日(月)

株式会社ケイスと相模女子大学とのデザイン産学連携プログラムの「最終プレゼンテーション」を実施しました。

第1回のオリエンテーションの回(平成22年5月に実施)以降、株式会社ケイスが中心となって各てぬぐい柄の提案に対する技術面でのアドバイスなどを行ってきました。

今回のデザイン産学連携プログラムには20人の学生さんが参加し、最終的な提案数は89点にも及びました。どの学生さんも、時間のない中しっかりとてぬぐい柄の提案ができていて、素晴らしいプレゼンテーションの時間となりました。

優秀な提案については、商品化に向けて動き出す予定です。



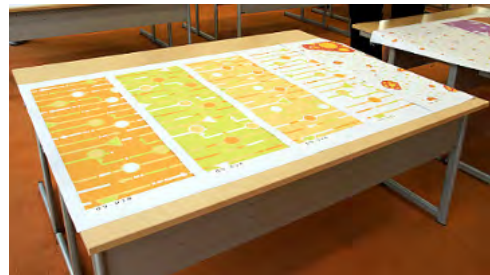
▲プレゼンテーションの様子 (1)



▲プレゼンテーションの様子 (2)



▲プレゼンテーションの様子 (3)





## 提案された てぬぐい柄




### (4) 優秀作品発表会（商品化の回）

学生の提案が「てぬぐい」になりました！

平成 22 年 9 月 18 日(土)、株式会社ケイスと相模女子大学による産学連携の取り組みとして、「濱文様のでぬぐい柄デザイン」の表彰式が相模女子大学で行われました。

今回のテーマは「濱文様ブランドのオリジナルてぬぐい柄を店頭に」というもので、株式会社ケイス社内での厳正な審査の結果、全 89 作品の中から、金賞、銀賞、銅賞がそれぞれ 1 点選ばれました。

### 【参考】記者発表資料



横浜市記者発表資料

平成 22 年 9 月 10 日  
経済観光局ものづくり支援課

---

**横浜市デザイン産学官連携プログラム**

## 相模女子大学の学生が提案した「てぬぐい柄」が商品になります！

横浜市では、自社の技術・製品・商品等の新たな展開を考えている中小企業がテーマを提示し、それに対して、デザイン系教育機関の学生が自らの感性や発想等の強みを活かした提案に取り組むデザイン産学官連携プログラムを平成 21 年度から実施してきました。

このたび、相模女子大学短期大学部生活デザイン学科の 20 名の学生が提案した「てぬぐい柄」の中から株式会社ケイスが選考を行い、優秀な提案を決定しました。優秀な提案をした学生を表彰する表彰式を開催することになりましたので、ぜひ取材にお越しください。

なお、優秀な提案については株式会社ケイスが商品化し、直営店で販売をする予定です。

※当日取材を希望される方は、直接会場までお知らせください。(事前申込みは不要です)

**1 開催日時**  
平成22年9月18日(土) 13時30分～14時40分  
〈スケジュール(予定)〉  
13:30 開会  
13:45 受賞作品の発表と講評  
14:15 表彰式  
株式会社ケイス 代表取締役 加藤好男様より優秀な学生を表彰  
14:40 閉会

**2 開催会場**  
相模女子大学 マーガレット本館 1階 会議室1  
神奈川県相模原市南区文京 2-1-1  
小田急線 相模大野駅 徒歩 10分 (裏面に地図有り)

**横浜市デザイン産学官連携プログラム**

市内中小企業とデザイン系教育機関の学生が商品開発等の検討を行うことにより、学生にとっては企業の生きざビジネスの世界を知る機会となることを、中小企業にとっては学生のアイデアを事業の中心として活かせる好機となることわかった事業です。

相模女子大学の協力を得て平成 21 年 11 月に横浜市デザイン産学官連携プログラムへの参加を希望する企業を募集しました。平成 22 年 2 月に応募企業の中から横浜市デザイン産学官連携プログラムで取り組むテーマを提示した企業のヒアリングを行い、株式会社ケイスが提示したテーマが選ばれました。

平成 22 年 5 月にスタートし、6 月、7 月の中間チェックを経て 8 月にプレゼンテーションを開催しました。提案された「てぬぐい柄」は株式会社ケイスが社内で通り、優秀な提案を決定しました。

詳しくはWebで！ [デザイン産学](#)

お問い合わせ先

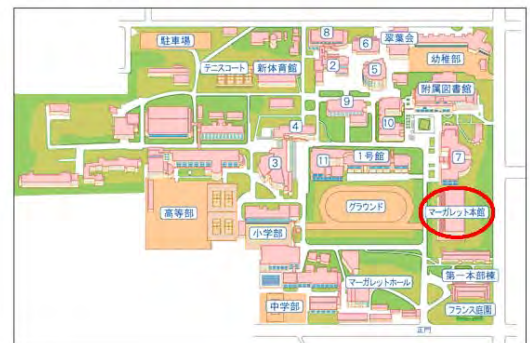
経済観光局ものづくり支援課(工業技術支援センター) 担当課長 藤井 毅 Tel.045-788-9000

※ 本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。

(参考1) 相模大野駅からの案内



(参考2) 相模女子大学内の案内

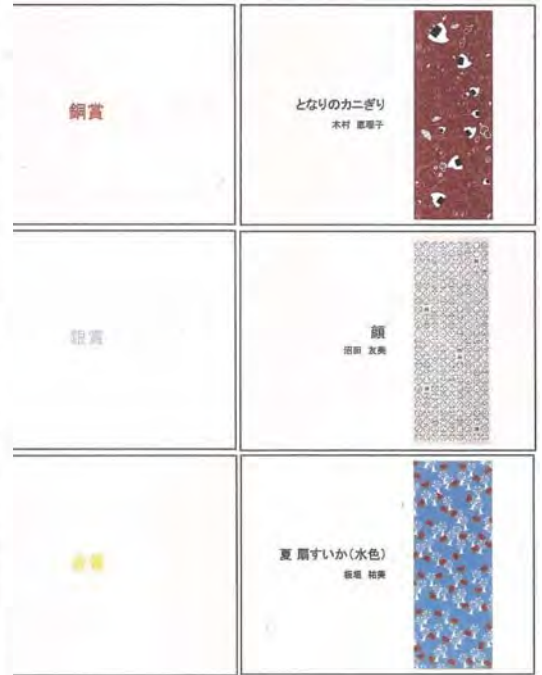




産学官連携デザインプロジェクト(相模女子大学短期大学部生活デザイン学科)

2010.8

賞	作品番号	タイトル	氏名	
1.金賞	03-009	夏 扇すいか(水色)	板垣 祐美	イタガキ ユミ
2.銀賞	13-053	顔	沼田 友美	ヌマタ ユミ
3.銅賞	04-015	となりのカニざり	木村 恵理子	キムラ エリコ
ファンタジー特別賞	01-005	ゆきの夜	浅川 けい	アサカワ ケイ
クリエイティブ特別賞	02-006	鯉	芦田 美穂	アシダ ミホ
プリティー特別賞	03-011	冬 雪みかん ねずみ色	板垣 祐美	イタガキ ユミ
アイデア特別賞	08-030	あなたが大好き!	斎藤 仁美	サイトウ ヒトミ
ユーモア特別賞	15-068	おぼけキョンシー	羽田 夏実	ハネダ ナツミ
ファンタジー賞	01-004	ゆきの日	浅川 けい	アサカワ ケイ
ユーモア賞	04-013	おにぎりとかニ	木村 恵理子	キムラ エリコ
ファンタジー賞	05-017	雨の音	金原 俊恵	キンバラ トシエ
プリティー賞	06-022	いちご、召し上がれ2	桑原 菜々瀬	クワバラ ナナセ
プリティー賞	07-025	和洋柄	小清水 綾	コシミス アヤ
クリエイティブ賞	08-029	西洋気取り	斎藤 仁美	サイトウ ヒトミ
アイデア賞	09-038	YaZiRuSi オレンジ	嵯峨 彩奈	サガ アヤナ
ユーモア賞	10-042	こぶた一色濃い目	杉本 早香	スギモト ハヤカ
プリティー賞	11-044	クローバー黄色	土井 彩花	ドイ アヤカ
アイデア賞	12-051	薔薇1	土井 理恵	ドイ リエ
プリティー賞	13-058	そうだ。和菓子を食べてよう。	沼田 友美	ヌマタ ユミ
ユーモア特別賞	15-068	おぼけキョンシー	羽田 夏実	ハネダ ナツミ
アイデア賞	14-060	ピノキオ 秋	根本 留美	ネモト ルミ
プリティー賞	16-073	よだれぶちにゃんこ1①ピンク	深町 知世	ハネダ ナツミ
アイデア賞	17-081	黄色い隊列3	福本 仁恵	フクモト ミサト
ファンタジー賞	18-084	風車	森谷 美奈	モリヤ ミナ
プリティー賞	19-087	ティータイム	諸星 美佳	モロホシ ミカ
アイデア賞	20-089	ポップコーン	山田 香織	ヤマダ カオリ



(株)ケイス 濱文様

産学官連携デザインプロジェクト(相模女子大学短期大学部生活デザイン学科)

2010.9

賞	作品番号	タイトル	氏名
1位 金賞	03-009	夏 扇すいか(水色)	板垣 祐美
寸評		夏の涼しげなモチーフを可愛らしく描いた、多くの人に受け入れられやすいデザインです。全体の構成や空間のバランスのとり方もよく出ています。	
2位 銀賞	13-053	顔	沼田 友美
寸評		線描きのみで全ての顔が違う表情に表現されていて、完成度の高い作品に仕上がっています。	
3位 銅賞	04-015	となりのカニざり	木村 恵理子
寸評		独創性に富んだ、楽しいデザインに仕上がっています。カニの表情も可愛らしく、親しみやすく描かれています。	

ファンタジー特別賞	01-005	ゆきの夜	浅川 けい
寸評		景色の夢の世界に引き込まれそうな美しいデザインに仕上がっています。全体の構図と柄のバランスもきれいに構成されています。	
クリエイティブ特別賞	02-006	鯉	芦田 美穂
寸評		独特な個性を感じるデザインで、柄テーマを大胆に表現されている作品。	
プリティー特別賞	03-011	冬 雪みかん ねずみ色	板垣 祐美
寸評		雪だるまのモチーフが可愛らしく、柄の題名もよく考えられています。	
アイデア特別賞	08-030	あなたが大好き!	斎藤 仁美
寸評		図やテーマの表現が面白く、インパクトのあるデザインに仕上がっています。	
ユーモア特別賞	15-068	おぼけキョンシー	羽田 夏実
寸評		摩訶不思議な世界に引き込まれそうな個性的なデザインです。	

(株)ケイス 濱文様

賞	作品番号	タイトル	氏名
ファンタジー賞	01-004	ゆきの日	浅川 けい
寸評		構成やモチーフがシンプルできれいに表現されている作品です。	
ファンタジー賞	05-017	雨の音	金原 俊恵
寸評		優しく、シンプルな表現がされています。	
ファンタジー賞	18-084	風車	森谷 美奈
寸評		左右のバランスを変えた構成がきれい。風車の表現をもう一工夫したら更に良いデザインになると思います。	

プリティー賞	06-022	いちご、召し上がれ2	桑原 菜々瀬
寸評		おいしそうないちごが描かれた作品です。	
プリティー賞	07-025	和洋柄	小清水 綾
寸評		モチーフが女の子らしくて可愛らしい作品です。	
プリティー賞	11-044	クローバー黄色	土井 彩花
寸評		さりげない可愛らしさがある作品です。	
プリティー賞	13-058	そうだ。和菓子を食べてよう。	沼田 友美
寸評		女性が好みそうなモチーフを可愛らしく表現されています。	
プリティー賞	16-073	よだれぶちにゃんこ1①ピンク	深町 知世
寸評		色使いが可愛らしく、テーマのしほりこみが個性的です。	
プリティー賞	19-087	ティータイム	諸星 美佳
寸評		可愛らしく、暖かみのある作品です。	

クリエイティブ賞	08-029	西洋気取り	斎藤 仁美
寸評		構成が大胆であるのに、どこか女性らしさを感じさせられる作品です。	

アイデア賞	09-038	YaZiRuSi オレンジ	嵯峨 彩奈
寸評		取り上げた柄のテーマが面白い作品です。	
アイデア賞	12-051	薔薇1	土井 理恵
寸評		発想が面白いデザインです。ミシンの表現を工夫すると更によい作品に。	
アイデア賞	14-060	ピノキオ 秋	根本 留美
寸評		斬新なデザイン構成が面白い作品です。	
アイデア賞	17-081	黄色い隊列3	福本 仁恵
寸評		ひよこの隊列で、幾何柄のように表現した発想が面白い。	
アイデア賞	20-089	ポップコーン	山田 香織
寸評		題材が面白い。ポップコーンが更にはじけた感じが表現出来れば、より面白いデザインになると思います。	

ユーモア賞	04-013	おにぎりとかニ	木村 恵理子
寸評		構成も色使いも大胆で、面白いデザインです。	
ユーモア賞	10-042	こぶた一色濃い目	杉本 早香
寸評		かわいいモチーフを大胆に描いて表現されている作品です。	

(株)ケイス 濱文様



**表彰式**

金賞  
夏 雨すいか(水色)  
板垣 祐典

プリティー特別賞  
冬 雪みかん  
ねずみ色  
板垣 祐典

銀賞  
顔  
沼田 友美

プリティー賞  
そうだ。  
和菓子を食べよう。  
沼田 友美

銅賞  
となりのカニぎり  
木村 恵理子

ユーモア賞  
おにぎりとかニ  
木村 恵理子

クリエイティブ特別賞  
鯉  
戸田 美穂

ファンタジー賞  
雨の音  
金原 俊彦

プリティー賞  
いちご、召し上がれ2  
高原 菜々葉

プリティー賞  
和洋柄  
小清水 綾

アイデア特別賞  
あなたが大好き  
藤原 仁美

クリエイティブ賞  
西洋風取り  
藤原 仁美

アイデア賞  
YaZiRuSi オレンジ  
榎崎 彰泰

ユーモア特別賞  
おぼけキョンシー  
羽田 夏美

プリティー賞  
よだれぶらにゃんにこ①ピンク  
藤野 知世

ユーモア賞  
こぶた一色濃い目  
杉本 早希

プリティー賞  
クローバー黄色  
土井 彩花

アイデア賞  
黄色い隊列3  
橋本 仁志

ファンタジー賞  
風車  
森谷 典崇

アイデア賞  
薔薇1  
土井 理恵

アイデア賞  
ピノキオ 秋  
橋本 聖美

プリティー賞  
ティータイム  
橋本 聖美

アイデア賞  
ポップコーン  
山田 香織

## <相模女子大 ホームページより>

生活デザイン学科：濱文様デザインプロジェクトの表彰式を行いました。

生活デザイン学科では、「濱文様デザインプロジェクト」の表彰式を9月18日（土）に行いました。

8月2日（月）にプレゼンテーションした「濱文様ブランド・手ぬぐいデザイン」の作品に対して、株式会社ケイスの加藤社長とスタッフの方々により商品化に向けた作品の選考をしていただき、このたび表彰式を行いました。

表彰式は、横浜市「企業経営支援部ものづくり支援課」の藤井課長、鈴木係長、榎本アートディレクター、岩本氏、株式会社ケイスの加藤社長、谷崎学長にご出席いただき、加藤社長より商品化される作品と各賞の表彰とともにその選定経緯、受賞理由、評価した点等を講評していただきました。

商品化が決定した作品は、金賞を受賞した板垣祐美さんの「夏 扇すいか（水色）」、銀賞の沼田友美さんの「顔」、銅賞の木村恵理子さんの「となりのカニぎり」です。

また、各学生の作品にファンタジー特別賞、クリエイティブ特別賞、プリティー特別賞、アイデア特別賞、ユーモア特別賞などをいただきました。

このたびの産学官連携「濱文様デザインプロジェクト」を通して、オリジナリティーの大切さとそれを表現し人に説明する難しさを知り、デザインは多くの人に評価されてはじめて成立することを学ぶことができました。

[生活デザイン学科]



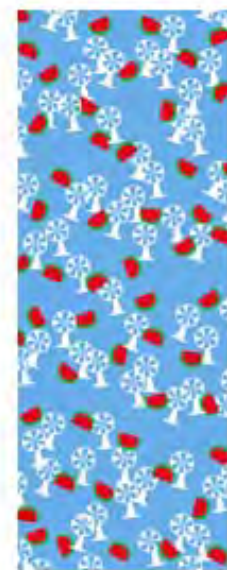
銅賞

木村恵理子さん  
「となりのカニぎり」



銀賞

沼田友美さん  
「顔」



金賞

板垣祐美さん  
「夏 扇すいか(水色)」

表彰式の様子



会場の様子



学長の挨拶



金賞授与



銀賞



銅賞



## (5) 優秀作品の製品化

〈相模女子大ホームページより〉

学生の提案が「てぬぐい」になりました！

平成22年9月18日(土)、株式会社ケイスと相模女子大学による産学連携の取り組みとして、「濱文様のでぬぐい柄デザイン」の表彰式が相模女子大学にて行われました。

今回のテーマは「濱文様ブランドのオリジナルてぬぐい柄を店頭に」というもので、株式会社ケイス社内での厳正な審査の結果、全89作品の中から、金賞、銀賞、銅賞がそれぞれ1点選ばれました。

今回は金賞、銀賞、銅賞の作品が「てぬぐい」になりましたのでご紹介します。

※ 商品化された「てぬぐい」はテクニカルショウヨコハマ2011(平成23年2月2日～4日)の横浜市ブースで展示予定です。

### 商品化作品その1

【作品概要】 **金賞** 夏 扇すいか(水色)

コンセプトはタイトルの通り、夏です。夏の風物詩といえば、扇風機とすいかだとおもったので、それを濱文様のデザインにしました。2パターン考えました。形や大きさは変えず、色で雰囲気をかえてみました。こちらは背景も夏らしく、暑苦しさを吹き飛ばすような水色にしてみました。あえて、黄色の扇風機は無く、白一色にしました。

【受賞理由】

夏の涼しげなモチーフを可愛らしく描いた、多くの人に受け入れられやすいデザインです。全体の構成や空間のバランスのとり方もよく出ています。



### 商品化作品その2

【作品概要】 **銀賞** 顔

横浜らしさがテーマということなので、横浜の人工が日本一ということからたくさんの方の顔を並べました。デザイン上のポイントは、すべての顔が違う顔になっているということです。曲線と直線を組み合わせて顔を作ることによって現代のデジタル化らしさをだし、すべて違う顔にすることで楽しさを出しました。手に取った人が、似てる・似てないやこれが好き・嫌いなど個々の楽しみを感じていただければいいなと思っています。色は、絵が細かいため、シンプルにしました。

【受賞理由】

線描きのみで全ての顔が違う表情に表現されていて、完成度の高い作品に仕上がっています。





### 商品化作品その3

#### 【作品概要】

**銅賞**

となりのカニぎり

和風と言えば手書き”おにぎり”とカニ”をテーマに制作しました。手書きならではの、ふんわりとした柔らかい曲線が特徴です。カニが、ところどころ、おにぎりや栗、キノコをキャッチしているところが見ていて温かみがあると思います。私は季節の中で秋が好きなので秋バージョンとして作りましたが、秋でなくても使えるものにしました。カラフルにせず、模様を白色で統一したところがポイントです。カニが何匹いるか数えてみるのも楽しいのではないのでしょうか。



#### 【受賞理由】

独創性に富んだ、楽しいデザインに仕上がっています。カニの表情も可愛らしく、親しみやすく描かれています。





## (6) ㈱ケイスによる商品の販売

## 〈㈱ケイス ホームページより〉

濱文様・相模女子大学・横浜市による産学官の連携でオリジナルてぬぐい登場！

この度、株式会社ケイス（濱文様）と相模女子大学、そして横浜市経済観光局の、産学官の連携によるデザインプロジェクトが実施されました。

今回は相模女子大学デザイン生活学科の生徒さん達に、「てぬぐい」柄をデザインして頂きました。

これといった制約は設けず、自由な発想でオリジナルの柄を提案してもらっています。

そして、その中から「金賞」「銀賞」「銅賞」3柄を選び、横浜の伝統型染めである「捺染」で染め上げ、実際に店頭およびネットショップで販売する事になりました。

学生さん達の伸び伸びとした作品を是非ご覧ください。



**金賞 夏 扇すいか**  
**板垣 祐美さん**



**銀賞 顔**  
**沼田 友美さん**



**銅賞 となりのカニぎり**  
**木村 恵理子さん**

皆様、素敵な作品ありがとうございました！

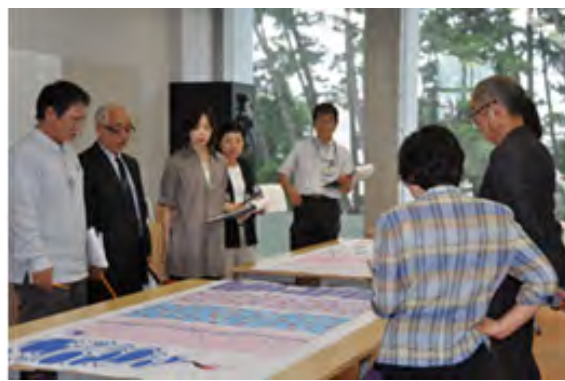
こちらからお買上げます。

### 〈プロジェクト始動のオリエンテーション〉



まずは今回のプロジェクトの概要の説明から、濱文様についての説明までを行っています。

### 〈プレゼンテーションの様様〉



柄の選考も行います。

右の写真は表彰式の様様、金賞を受賞された板垣さんです。

銅賞、銀賞以外にもクリエイティブ特別賞なども設けられました。



## プロジェクトの実施にあたって

今回のデザインプロジェクトでは、柄の作成から「てぬぐい」として商品化するまでを行いました。現場で経験を積んだデザイナーとのセッション、ブラッシュアップを行い、実際手に取れる「てぬぐい」というアイテムに商品化されるまでの経験を、若い才能ある方達に提供できる事は、企業としての社会貢献につながる取り組みの一つともなりました。

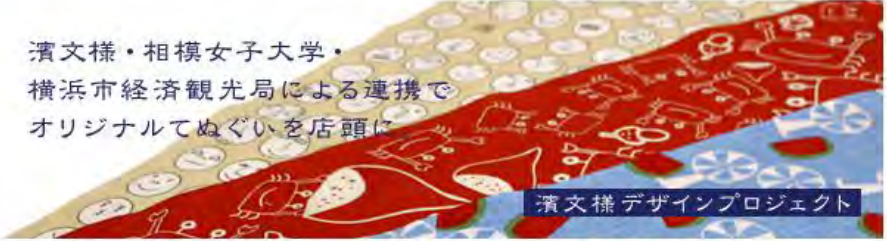
今回ご協力頂きました、関係者様にはこの場を借りてお礼を申し上げます。

2011年1月20日 株式会社ケイス

**・ ・ ・ 濱文様**

和・小物のオリジナルブランドの生活雑貨
ポイント | サポートセンター [RSS FEED](#)
ID  パスワード  [GO](#)

・ ・ ・ 濱文様の商品
濱文様のバレンタイン
濱文様の桜
濱文様のひな祭り
濱文様デザインプロジェクト
コレクターズシリーズ文具
横浜シリーズ
はまも日和
てぬぐい
絵てぬぐい
てぬぐい額
てぬぐい本
てぬぐいのはんかち
いろははんかち
ABCはんかち
ひとことはんかち
小布
風呂敷
帆布トート
キャンバストート
トートバッグ・手さげ
エコトート
和ちいぶ



**濱文様・相模女子大学・  
横浜市経済観光局による連携で  
オリジナルてぬぐいを店頭へ**

濱文様 デザインプロジェクト

この度、株式会社ケイス(濱文様)と相模女子大学、そして横浜市経済環境局の産学官の連携による、デザインプロジェクトが実施されました。

今回は相模女子大学デザイン生活学科の生徒さん達に、「てぬぐい」柄をデザインして頂きました。

これといった制約は設けず、自由な発想でオリジナルの柄を提案してもらい、その中から「金賞」「銀賞」「銅賞」3柄を選び、横浜の伝統型染めである「捺染」で染め上げ、実際に店頭およびネットショップで販売する事になりました。学生さん達の伸び伸びとした作品を是非ご覧ください。


詳しくはこちらのページをご覧ください。

全3件




てぬぐい となりのかきり

840円



てぬぐい 顔

840円



てぬぐい 扇すいか

整列: [価格] [製品名] [製造元]

## 9 テクニカルショーヨコハマ2011

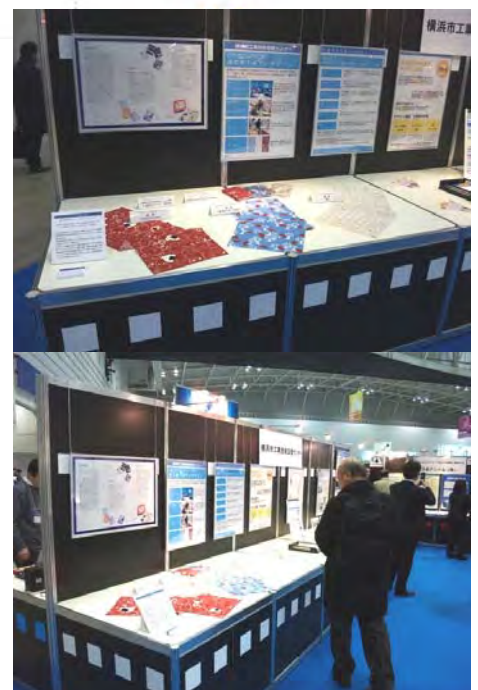
2011.2.2~.4 パシフィコ横浜展示ホール (C, D) にて開催



銅賞

金賞

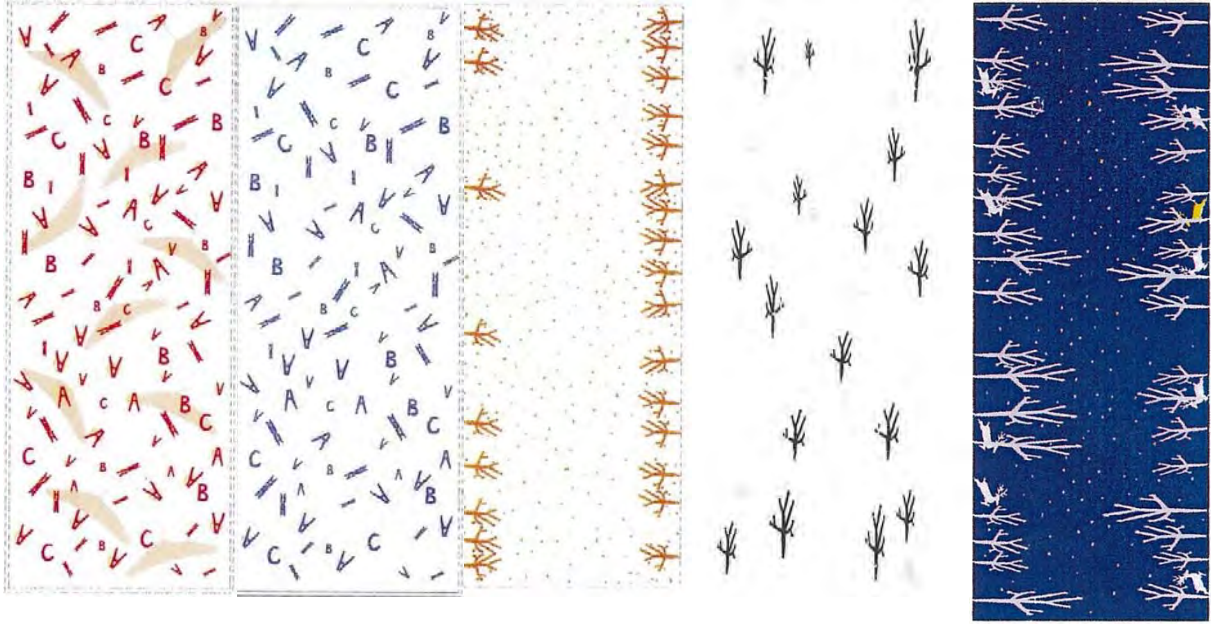
銀賞





【作品集】

Aさん



Bさん



Cさん

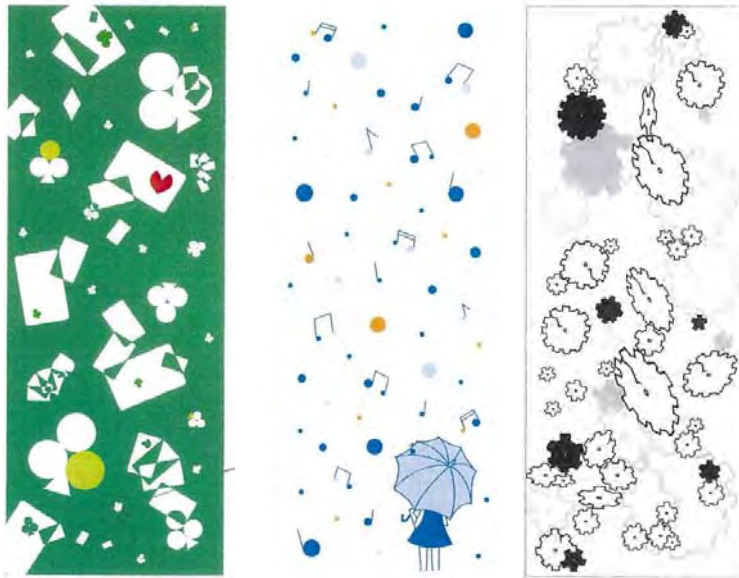




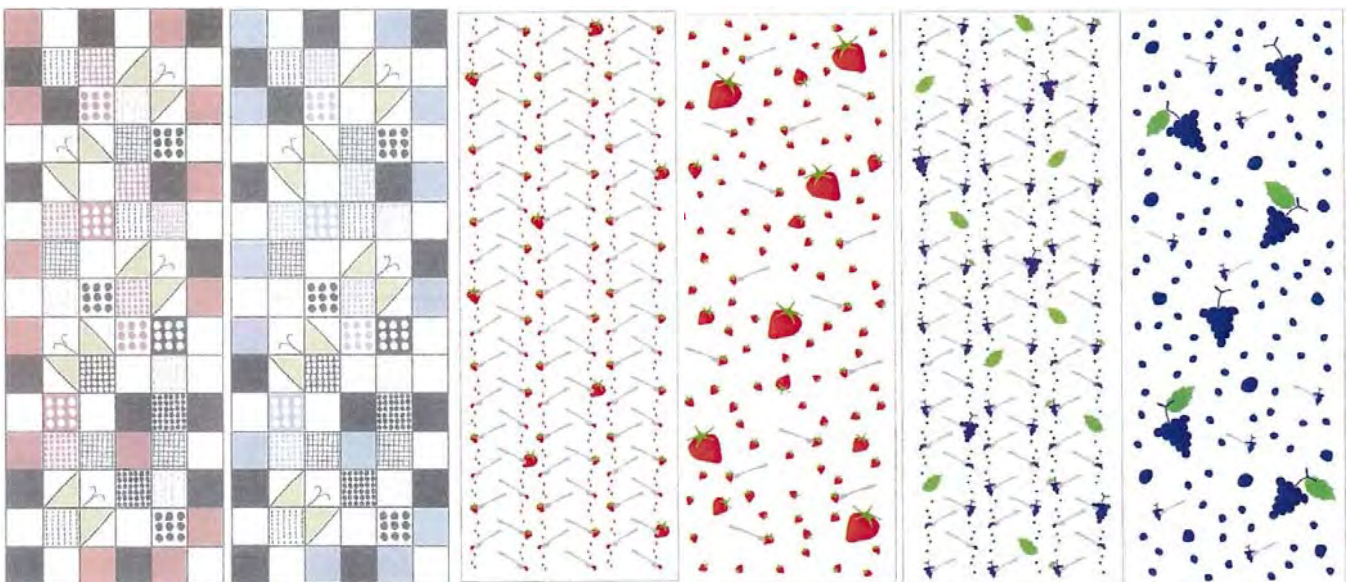
Dさん



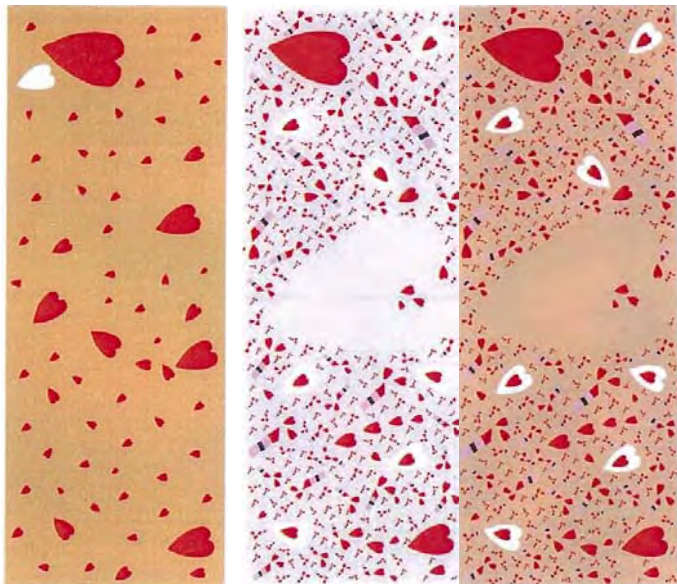
Eさん



Fさん



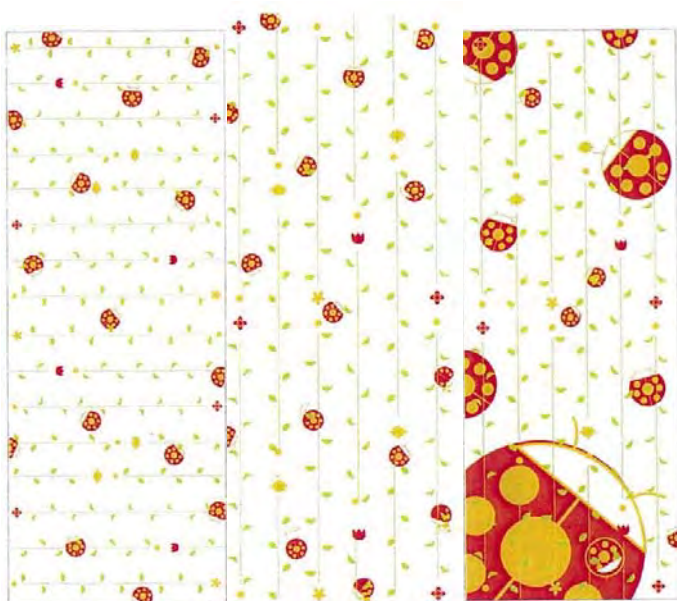
Gさん



Hさん

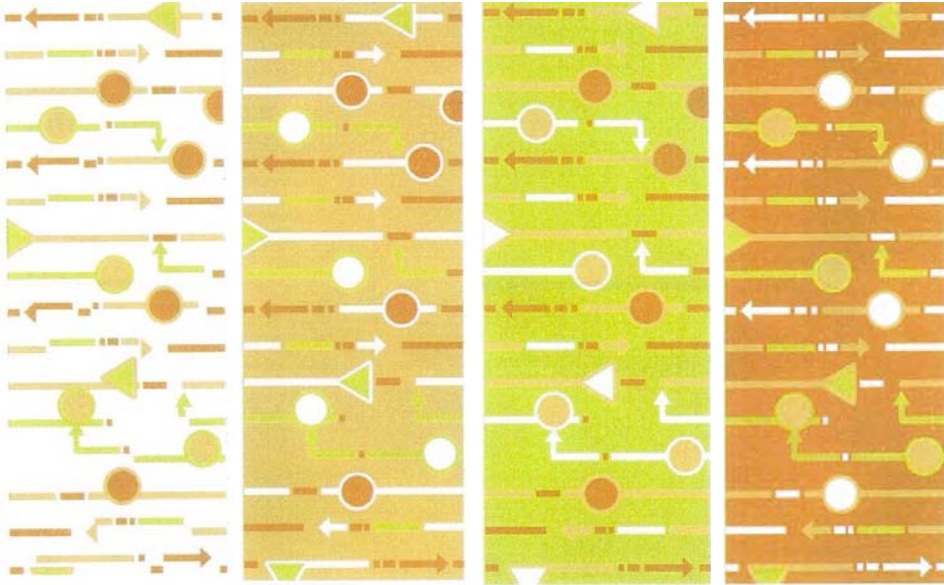


Iさんの1

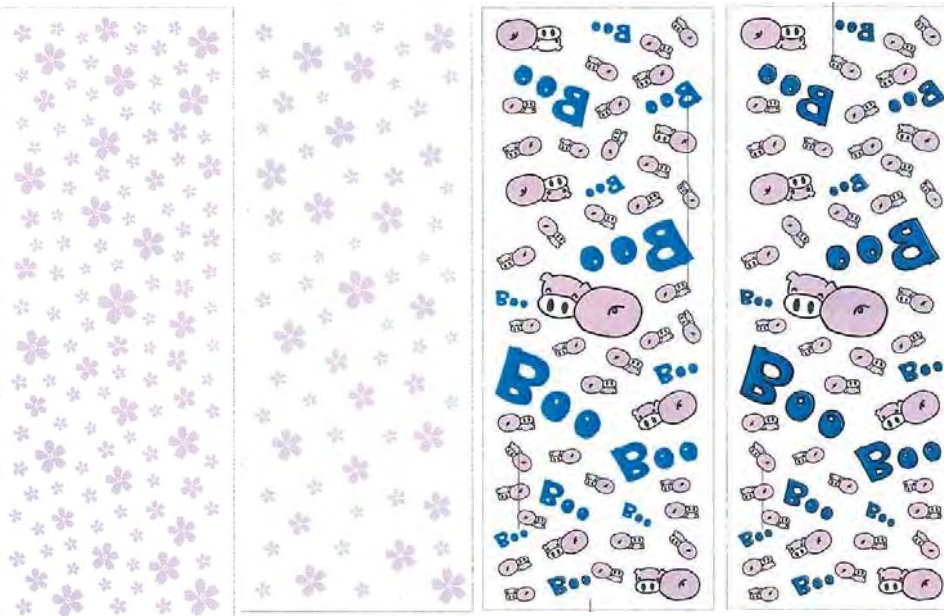




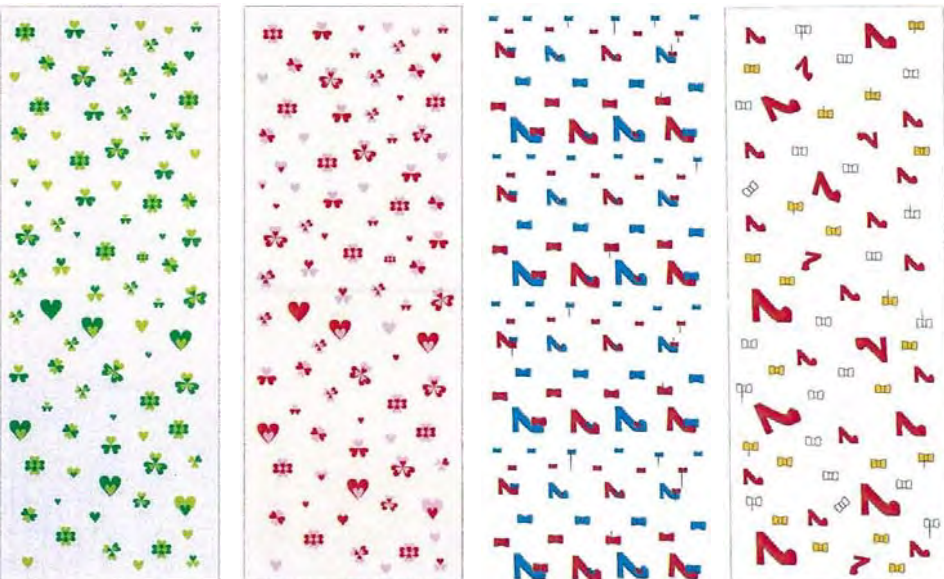
Iさんの2



Jさん

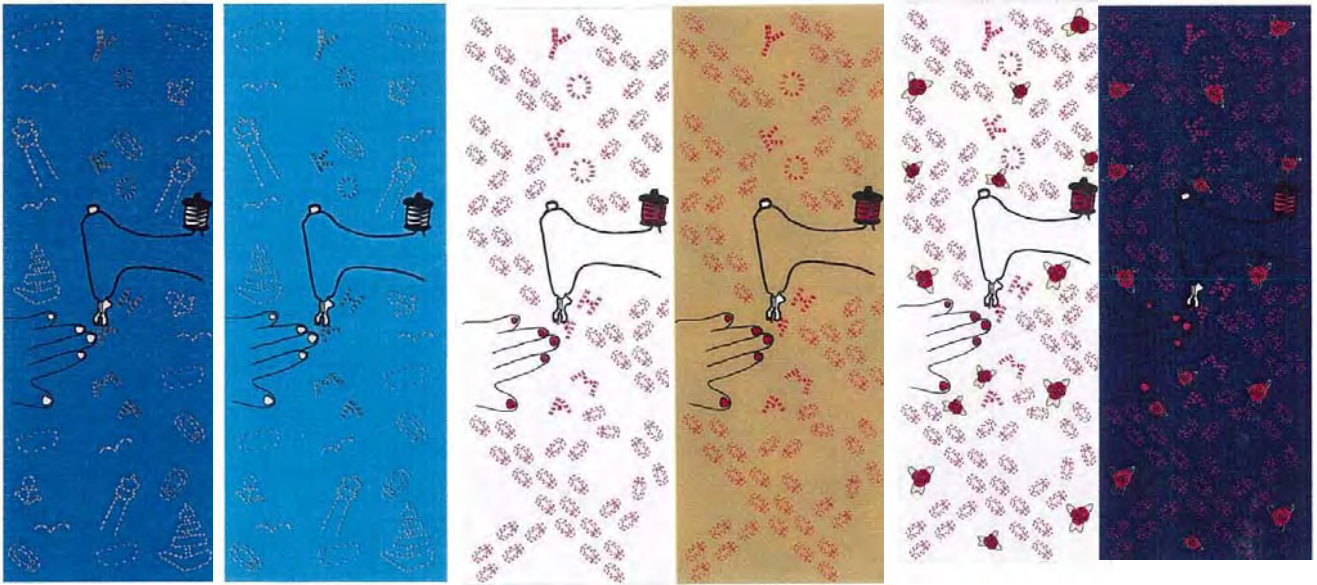


Kさん

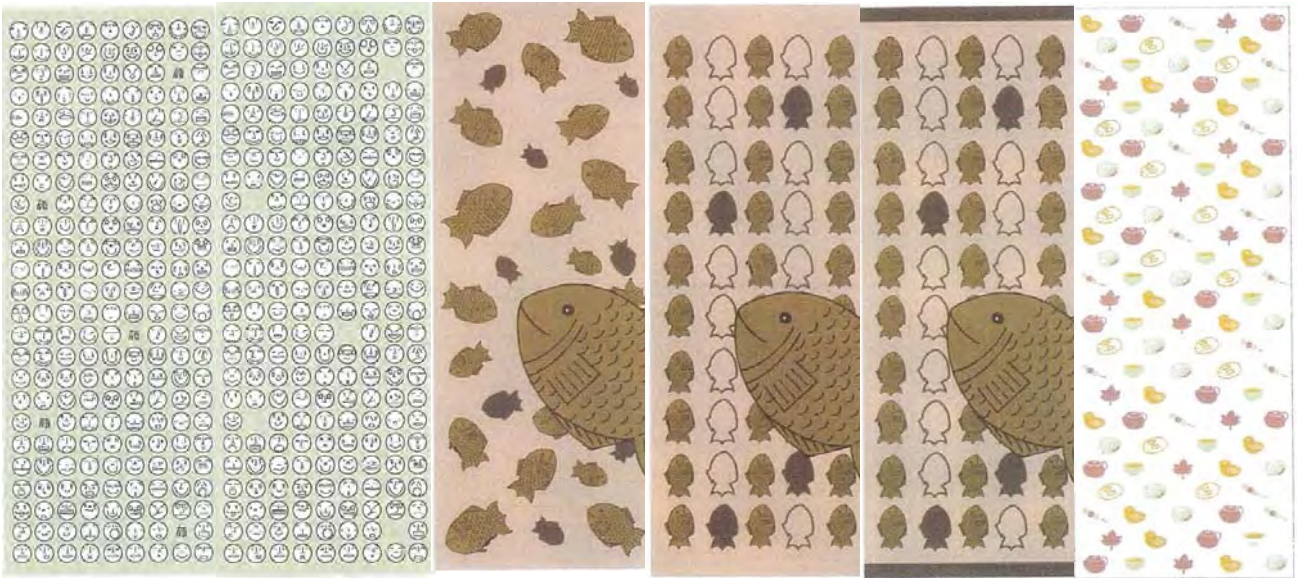




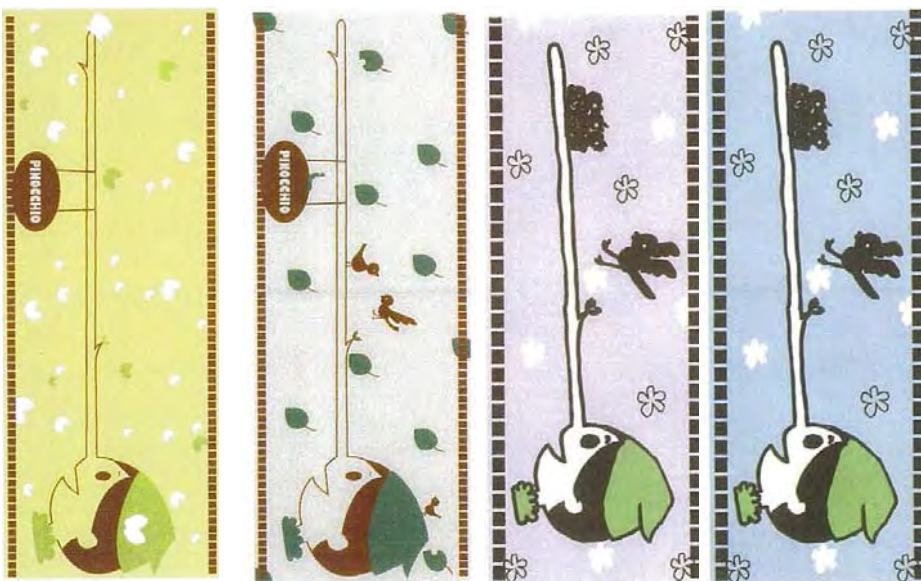
Lさん



Mさん

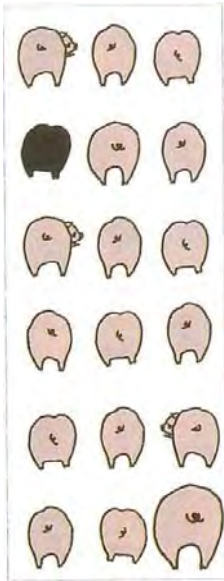


Nさんの1





Nさんの2



Oさん

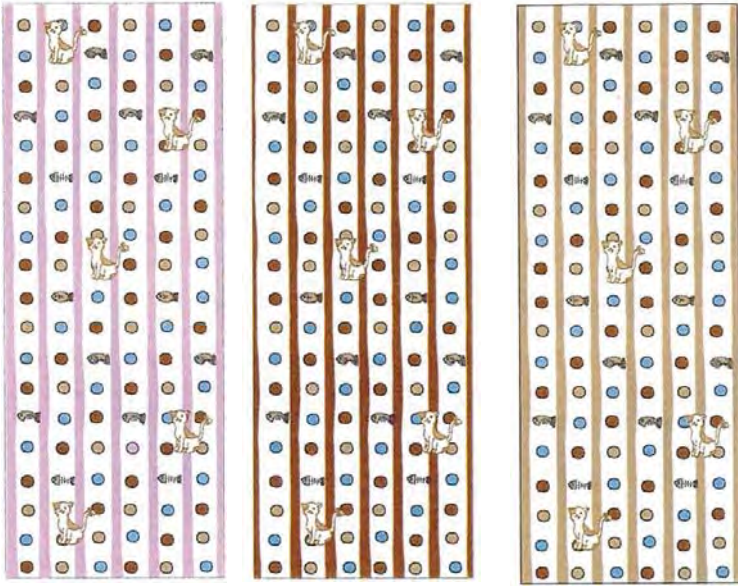


Pさんの1





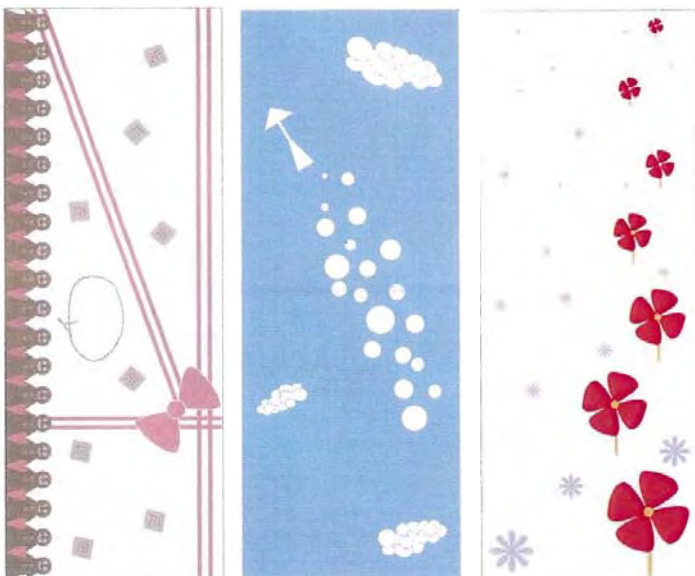
Pさんの2



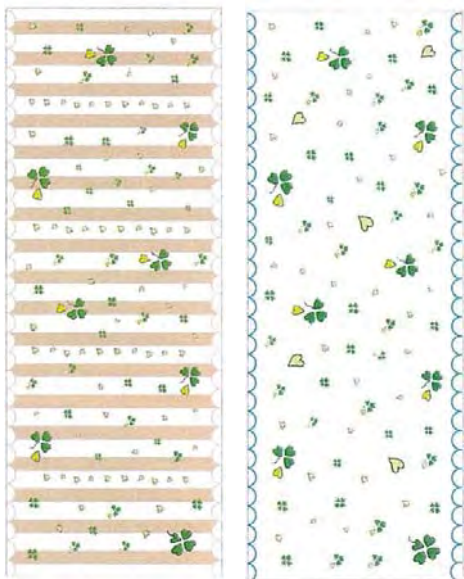
Qさん



Rさん



Sさん



Tさん



### 謝 辞

このプロジェクトの趣旨をご理解、ご協力いただいた相模女子大学の谷崎学長様をはじめとして、松島教授など教師の方々、また株式会社ケイスの加藤社長、ケイスの方々に御礼申し上げます。

また、一生懸命すばらしいデザイン柄を考えていただきました20名の学生のみなさんには、感謝申し上げます。

(平成23年度8月作成)